


**(一財) 新潟県バスケットボール協会
スポーツインティグリティ研修会**
(令和6年4月14日)

笑顔と挑戦あふれるバスケットコートに！

1



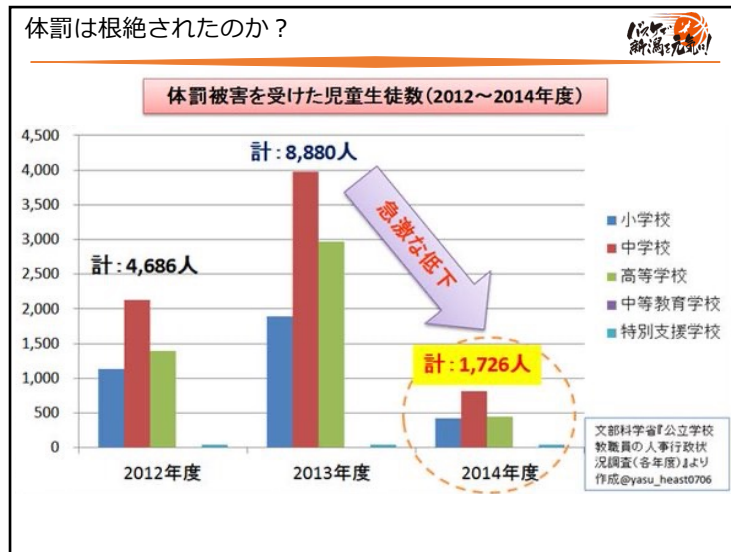
大前提
子供の未来に責任を持つ

子供が勝負に夢中になるのはあたりまえ

子供が夢中になることに対して、将来を見据えて健全な姿（仕組み）にするのは大人の責任。


コーチや保護者が過度に勝負にこだわることで、様々な好ましくない状況をもたらしてきました。

2



3

バスケットボールに関するU12保護者アンケート(2020年)より



- 試合中や練習中の**暴力**に問題あると回答(全体の約10%)
⇒ 子どもは、**楽しんでいる**、**成長している** 約8%
- 試合中や練習中の**暴言**に問題あると回答(全体の約30%)
⇒ 子どもは、**楽しんでいる**、**成長している** 約30%

↓

保護者は、試合での勝利や技術の向上のために暴言暴力に耐えることを、楽しさや成長と捉え、容認しているのではないかと考えられる。

生存者バイアス

4

心の強さを育てよう!

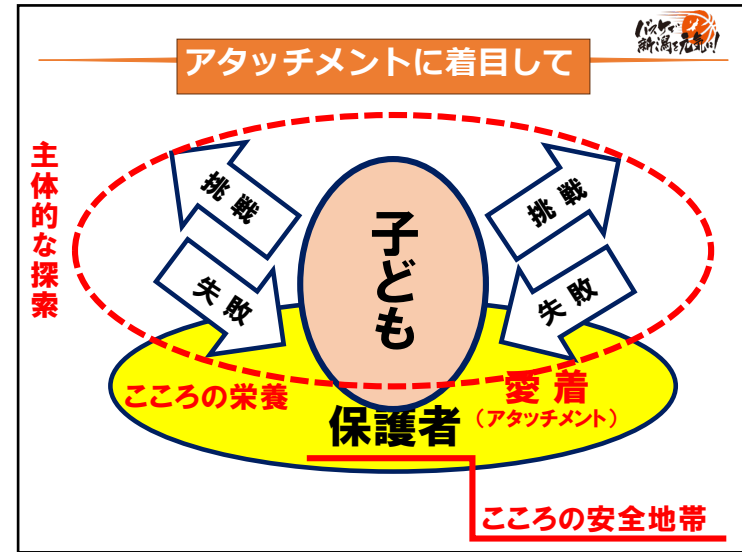
■ 保護者の誤った言動

- ・試合中に応援席からプレーに対して指示する保護者
⇒ **58.8%** (よくある18.8%、たまにある40.0%)
- ・チームメイト、コーチなどに対して感情的な言葉や不適切な言葉を投げかける保護者
⇒ **22.4%** (いる7.2%、たまにいる15.2%)

参考動画「パパ来ないで」

暴言暴力をするコーチもそれを容認する保護者も
こどものスポーツ環境に悪影響を与えている

5



6

アタッチメントコーチングのすすめ

健全な「絆」を深めていく

- 子どもを指導すると同時に、子どもからも学ぶという姿勢を持つ。
- 「やる気」を引き出し、育てる。
- 子供の苦しみを理解し、改善することを第一義とする。
- 「心」の安全と安らぎを与える。
- 子どもを深く理解し、心の伴走者となる。

7

2 スポーツの価値を再確認 (人間力の向上)

人間力とはライフスキル (社会人基礎力) ともいえます。
バスケットでライフスキルを身につけ、人間力向上を目指せます。

前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

- 主体性
- 物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力
- 他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力
- 目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～

- 課題発見力
- 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力
- 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力
- 新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

- 発信力
- 傾聴力
- 柔軟性
- 状況把握力
- 規律性
- ストレスコントロール力
- 自分の意見をわかりやすく伝える力
- 相手の意見を丁寧に聴く力
- 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスの発生源に対応する力

8

結果を褒めるか過程を褒めるか

・400人の5年生を2つのグループに分ける。
易しいIQテストの後に「結果=知性」または「課程=努力」を褒める

【結果（知性）を褒めた】	次に選択するテスト	【課程（努力）を褒めた】
67%が易しいテスト		92%が難しいテスト
イライラする	非常に難しいテストを解かせると	一所懸命、楽しむ
早く諦める		長く取り組む
マイナス20%	最初と同じ程の易しいテストを解かせると	プラス30%

「努力=過程」を褒めることが有効。

適切なタイミングで褒める・承認する

9

闘争競争理論

個人競争 短距離、競泳 マラソン、ゴルフ、 体操など	間接的 個人闘争 テニス、卓球、 バドミントンなど	個人闘争 ボクシング、 レスリング、柔道など
団体競争 陸上リレー、駅伝、 競泳リレーなど	間接的 団体闘争 野球、ソフトボール バレーボールなど	団体闘争 サッカー、ラグビー バスケ、水球など

競争的スポーツ 技術を発揮する権利を与えられている
闘争的スポーツ 妨害する権利を与えられている

10

陸上競技などの「競争」的思考や態度では

- ・言われた通りに動く
- ・練習してきた通りにやる
- ・かたち通りにやる

バスケットは「闘争」的スポーツなので

- ・言われた通りにやるよりも、その場で相手と闘争することが本質。
- ・練習よりも上手いかなのはあたりまえ。
- ・攻防は形ではなく、相手に影響を与えることが本質。（邪魔する、邪魔させない、邪魔されたら次の手を打つ）

11

勝ちを目指して全力を尽くしながら、人間的成長を目指すこと、この2つの両立を目指して選手を取り巻くアントラージュが環境を整えることを目指しましょう！

自分のことはもちろん、チーム全体、相手チームにも拍手が送れますか？

キーワード：ポジティブコーチング、ダブルゴールコーチング

サッカー仲間の一員として、他のサッカー仲間全てを尊重できますか？

今日の勝ち負けよりも、このチームの将来を、楽しみにできますか？

ご清聴 ありがとうございました。

12